

講義コード	1030	科目区分	専門教育科目(子ども生活学専攻)
(フリガナ)	シイクトサイバイ	(フリガナ)	イシカワ ショウイチ
授業科目名	飼育と栽培Ⅱ	担当教員名	石川 正一
英文授業科目名			
基準年次(開講期)	3年次	履修形態	保育士選択必修科目
曜日/時限/講義室	木曜1限 保育実習室 農園		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	講義 実習
単位	1	週時間	2
授業のキーワード	栽培、飼育、育てる、動植物、生活		
授業概要・目的	秋から冬にかけての野菜や花を育てたり、身近な小動物を飼育するなど、実際の体験を通して栽培や飼育の技術を習得すると共に、人間とのかかわりについて理解を深める。		
到達度評価の 評価項目	身近な動植物に関心を持ち、人間とのかかわりについて考えられるようになる。また、年間を通して飼育や栽培のための知識や技術を習得する。		
第1回	オリエンテーション 授業内容について説明		
第2回	地域の自然を観察		
第3回	栽培 冬夏野菜を育ててみる 冬夏野菜について調べる		
第4回	種をまき、苗を育てる		
第5回	野菜作りのための土作りを行う① 畑を耕す		
第6回	" ② 肥料を施す		
第7回	収穫する		
第8回	秋から冬の花を育てる		
第9回	植えるプランターや花壇を整備する		
第10回	種から花を栽培する		
第11回	飼育 身近な小動物を探し、観察する		
第12回	飼育する動物について調べる		
第13回	実際に飼育してみる 観察日記をつける		
第14回	成果報告会を行う		
第15回	まとめ		
教科書・参考書等	随時紹介する。		
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス	飼育や栽培は授業の内外を問わず、常に関わる事が求められます。ですから、むしろ授業外での学習が成果になって現れますので、積極的に動植物と関わる事が求められます。		
履修上の注意・ 受講条件等			
成績評価の基準等	際に野菜を育てたり、花を育てたり、身近な小動物を育て体験ができる。観察日記を提出する。		
メッセージ	この授業を履修した者は、必ず「栽培と飼育Ⅱ」を履修すること。		
オフィス・アワー			
その他	「命は待ってくれない」を合言葉に頑張りましょう。		